



けいちつ

啓蟄（5日）… 園庭ではどんな虫たちが目覚めるでしょうか…

この冬、雪はほとんど降りませんでした。わくわく池に氷が張ったのも2回程度でしたから、やはり暖冬だったのでしょうか。そのためか、カエルたちは啓蟄よりも半月以上早く池に姿を見せ、しばらくすると卵を産み、すでにそれもオタマジャクシになり始めています。

<桃始笑 もも はじめてさく 3月10日~14日>

啓蟄の次候は「桃始笑」です。今年は特にきれいに桃の花が咲いています。昔は咲くことを「笑う」と表現したそうです。俳句の春の季語には「山笑ふ」もあります。

<いろいろな花が笑い始めました>

今年は啓蟄を待たずにカエルたちが姿を現し始めましたが、桃も少し前からきれいな花を咲かせ始めていました。今年は例年よりも花の数が多いように思います。秋の剪定が功を奏したようです。他にも池の横のコブシや築山のフェンス際のアンズもたくさん花を咲かせています。プランターのイチゴも花を付けています。桜のつぼみも膨らみ、楓は黄緑色の若葉が萌え出ずる賑やかな季節となりました。

<交流を通して互いに育てたい心>

今年度は、みんなが集まる活動ができない分、異学年の交流については、日常的な関わりを大事にしていこうと常々話してきました。親子フェスタの前に、お互いのダンスを一緒に踊る姿が見られて驚いた話は以前お伝えしましたが、それは先生たちが、関わりの方口を常に意識して自然なきっかけづくりをしてきた成果です。修了式には参加できない分、修了式の歌の練習をする年長児のかっこいい姿を窓越しにでも見ることは、憧れの醸成には大事な時間なのです。

お別れ会で紹介した修了記念品は、自然との関わりを通して豊かな体験を積み重ねてきた年長児から、園庭の木々に親しみをもてるようにとの願いを込めた木の名札です。



裏庭に咲く桃の花



2階テラスから見下ろしてもきれいな桃



楓の赤い小さな花と芽吹き始めた若葉



年長児が修了式の練習を始めると、すてきな歌に憧れのまなざしを向ける年中児



桜のつぼみがふくらみ始めています



年長児からの修了記念品：木の名札



プランターのイチゴも花を付け



アンズもたくさん花を咲かせています